

こよみ



コールセンターからの、小さなよみもの



2023年
1月

2023年1月31日

Vol 168 **主要資産の過去のパフォーマンスから学ぶ、
長期の資産形成へのヒント**

2023年スタートし、早1カ月が経とうとしています。昨年末にかけて下落基調を強めた世界の株式市場ですが、まだまだ予断を許さないものの、足元では徐々に落ち着きを取り戻し始めているようです。

次ページにかけて掲載しているグラフは、2007年から2022年までの過去16年間の主要資産の年間騰落率のランキングです。グラフを眺めていると、リーマン・ショック(2008年)やコロナ・ショック(2020年)など大きな注目を集めたイベントを含む年だけでなく、各資産は絶えず上にも下にも変動していることに改めて気付かされます。

■主要資産の年間騰落率のランキング(2007年~2014年、円ベース)

2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
新興国株式 31.2%	新興国株式 83.7%	先進国株式 37.6%	世界REIT 37.2%	新興国債券 29.3%	世界REIT 39.6%	先進国株式 54.6%	世界REIT 39.7%
先進国債券 4.5%	分散投資 29.1%	世界REIT 7.6%	分散投資 29.1%	世界REIT 7.6%	新興国株式 33.8%	日本株式 54.4%	先進国株式 21.0%
先進国株式 4.4%	日本株式 7.6%	新興国株式 3.9%	日本株式 7.4%	新興国債券 3.5%	新興国債券 33.1%	分散投資 27.0%	新興国債券 20.7%
日本債券 2.6%	先進国債券 7.4%	日本債券 2.4%	先進国債券 7.4%	日本債券 2.2%	先進国株式 32.4%	世界REIT 24.8%	分散投資 17.8%
分散投資 2.1%	日本債券 0.9%	日本株式 1.0%	日本株式 1.0%	先進国債券 0.2%	分散投資 26.0%	先進国債券 22.7%	先進国債券 16.4%
新興国債券 -0.1%	日本債券 3.7%	分散投資 1.0%	分散投資 -0.4%	世界REIT -3.6%	日本株式 20.9%	新興国株式 18.6%	新興国株式 11.7%
日本株式 -11.1%	先進国債券 -15.5%	分散投資 -0.4%	先進国株式 -2.3%	分散投資 -6.6%	先進国債券 20.4%	新興国債券 11.3%	日本株式 10.3%
世界REIT -16.6%	分散投資 -35.6%	分散投資 -2.5%	新興国債券 -2.5%	先進国株式 -9.0%	日本債券 1.8%	日本債券 2.2%	日本債券 4.9%
	日本株式 -40.6%	先進国債券 -12.7%	先進国債券 -12.7%	日本株式 -17.0%			
	先進国株式 -52.6%			新興国株式 -22.4%			
	世界REIT -55.4%						
	新興国株式 -62.0%						

●前年末と年末との比較によるリターン ●当資料で使用した指数については、最終ページをご覧ください ●分散投資：日本株式、先進国株式、新興国株式、日本債券、先進国債券、新興国債券、世界REITを均等配分し毎月リバランスしたものと試算 ●信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ●上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

日興AMファンドアカデミー

こよみ

2023年
1月

コールセンターからの、小さなよみもの

年間騰落率のランキングから分かること

押さえておきたいのは、ランキングには何の法則性もなく、毎年の主役がコロコロと入れ変わっているということ。ですから、「毎年毎年、どの資産がいいかを考え投資資産を見直す」というのは正直あまりオススメできません。



■主要資産の年間騰落率のランキング(2015年~2022年、円ベース)

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
		新興国株式 32.7%		先進国株式 27.9%			
	新興国株式 8.6%	日本株式 22.2%		世界REIT 23.3%		世界REIT 47.7%	
	新興国債券 6.7%	先進国株式 18.5%		日本株式 18.1%	新興国株式 12.8%	先進国株式 38.2%	
	先進国株式 5.7%	分散投資 12.5%		新興国株式 17.7%	先進国株式 10.9%	分散投資 16.9%	
日本株式 12.1%	世界REIT 4.0%	先進国債券 4.7%		分散投資 15.2%	日本株式 7.4%	日本株式 12.7%	
新興国債券 2.2%	分散投資 3.7%	世界REIT 4.7%		新興国債券 11.5%	先進国債券 5.9%	新興国株式 9.0%	
日本債券 1.3%	日本債券 3.7%	新興国債券 4.3%		先進国債券 5.5%	分散投資 3.6%	新興国債券 6.4%	
世界REIT 1.0%	日本株式 0.3%	日本債券 0.2%	日本債券 1.1%	日本債券 2.3%	新興国債券 1.8%	先進国債券 4.6%	
分散投資 -0.5%	先進国債券 -3.0%		先進国債券 -4.5%		日本債券 -1.1%	日本債券 -0.2%	日本株式 -2.5%
			世界REIT -7.3%		世界REIT -12.6%		先進国債券 -6.1%
			新興国債券 -7.9%				先進国株式 -6.4%
			分散投資 -8.8%				日本債券 -7.4%
			先進国株式 -10.2%				分散投資 -8.3%
			日本株式 -16.0%				新興国株式 -8.5%
			新興国株式 -16.5%				世界REIT -12.9%
							新興国債券 -14.2%

●前年末と年末との比較によるリターン ●当資料で使用した指数については、最終ページをご覧ください ●分散投資：日本株式、先進国株式、新興国株式、日本債券、先進国債券、新興国債券、世界REITを均等配分し毎月リバランスしたものと試算 ●信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ●上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

こよみ



コールセンターからの、小さなよみもの



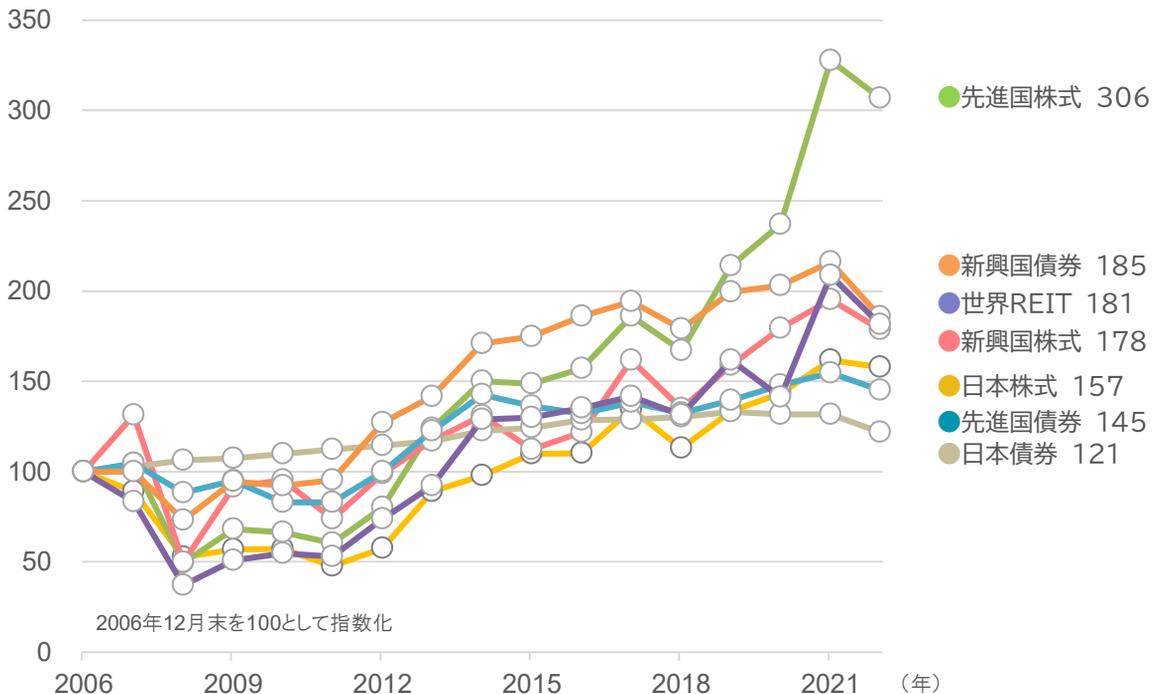
2023年
1月

過去のパフォーマンスを別角度から検証すると...

下のグラフは、2006年12月末から2022年12月末までの16年間の主要資産の累積パフォーマンスです。年間騰落率のランキング(P1~2)からは、何の法則性もなく、毎年の主役がコロコロ変わっていることが分かりましたが、このグラフからは新たな気づきを得ることができます。

16年間の累積パフォーマンスは、たとえば先進国株式は+206%、日本債券でも+21%のリターンとなっています。日々上がったり下がったりを繰り返すマーケットに一喜一憂せず、踏ん張って16年間保有し続けることができた人は、預貯金では得ることができないリターンを結果的に手にできているということが分かります。ですから、長期で見れば、各資産は「預貯金にはないパワーを持っている」と言うことができそうです。

■主要資産の累積パフォーマンス(2006年12月末~2022年12月末、円ベース)



●当資料で使用した指数については、最終ページをご覧ください ●信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
●上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2023年
1月

長期の資産形成へのヒントとは？

もちろん過去のパフォーマンスを鵜呑みにして、投資を行なうべきでないことは言うまでもありません。ただし、「毎年毎年どの資産がいいかを考え、投資資産を見直す」ことは得策ではないこと、長期保有をすれば各資産から「預貯金にはないパワー」を享受できる可能性があることを理解しておくことは、長期の資産形成に臨むうえでの重要なヒントとなりそうです。



nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

当資料で使用した指数について

●日本株式：東証株価指数(配当込) ●先進国株式：MSCI-KOKUSAI指数(配当込) ●新興国株式：MSCIエマージング・マーケット指数(配当込) ●日本債券：FTSE日本国債インデックス ●先進国債券：FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース) ●新興国債券：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし) ●世界REIT：S&PグローバルREIT指数(配当込) ※MSCI-KOKUSAI指数(配当込)、MSCIエマージング・マーケット指数(配当込)、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし)、S&PグローバルREIT指数(配当込)は米ドルベースの指数を日興アセットが円換算 ※各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。